



三原の嶺より

教育目標
自ら進んで学び
自然や人を愛し
たくましく生きる生徒

令和6年12月2日(令和6年度 第8号) 発行責任者 大島町立第一中学校長

『学ぶ』って楽しい! 『教える』って楽しい!! 『関わる』って楽しい!!!

生徒・教職員・保護者や地域の方々が安心・安全を実感できる学校

教職員の処遇改善は、学校へのエール

校長 重末 祐介

私自身の話ですが、私が小学校の教員を志したのは、小学校2年生の頃です。その後、小中学校・高等学校で様々な先生方と出会いましたが、「小学校の先生になりたい!」という夢は全くブレることはありませんでした。

当時(30 年前)は、教員採用の倍率は大変高く、私の地元の地域は10倍以上あり、何度も試験を受けないと先生になれない人が多くいました。両親は、夢の実現に向けて邁進する私を応援してくれましたが、厳しい採用状況を受けて「小学校の先生になれなかった場合、どうするのだろう?」と心配していたそうです。

残念ながら、地元での採用はかないませんでした。東京都の教員として一步を踏み出すことができました。採用された当時は不安もありましたが、「憧れていた先生になれた!」という喜びに、毎日興奮気味だったと記憶しています。そうした浮かれた記憶の中で、特に印象に残っているのが初給料日です。振込手続きの関係で、4月給与はなんと現金支給でした。封筒に入っている現金を眺めながら「子供の頃からの憧れの仕事に就き、そのうえお金までもらえるなんて!」と大変感動したことを覚えています。その時は、まさか約20年後に、教員の魅力が社会的に喪失し、成り手不足の時代が来るとは夢にも思いませんでした。

さて、令和に入り、コロナ禍も経て、学校現場、生徒たちの環境、求められる教育は、大きく様変わりしました。教員の指導方法も根本から見直すことが求められています。この変革期において、教員は多大な負担を強いられており、それが教員不足の一因となっていることは否めません。しかし、その一方で、教員の処遇改善もかつてないほどの注目を浴びています。「全ては子供たちのために」という期待のもと、歯をくいしばって頑張ってきた現場の者として、社会全体が、教職員の処遇改善に関心をもち、改善に向けて動きがあることを嬉しく思います。こうした社会からのエールを意識しながら、令和6年度の残り数か月を、最後まで教育に対する熱意と使命感を胸に、生徒たちへの指導にあたってまいります。

行事予定

12月

2日 衣替え

3日

～12日 三者面談期間

5日 くろしお校外学習

10日 連合音楽会(1.2年)

11日 連合音楽会(小学校鑑賞)

13日 俳句教室

17日 小学生への学校説明会

小6 授業見学

9日 心理士来校

19日 専門委員会

20日 TGG 英語体験

24日 大掃除

25日 終業式

1月

8日 始業式

9日 第3学年学力テスト

12月 SC 来校日

6日 13日 20日

第77回(男子)・第39回(女子)東京都中学校駅伝競走大会

11月9日(土)に江東区夢の島陸上競技場及びその周辺特設コースにて、東京都中学校駅伝競走大会が行われました。男子は91チーム中23位、女子は53チーム中28位と大健闘しました。現地まで応援に来ていただいた方々、そして大島からの温かい応援、本当にありがとうございました。

<チーム&個人の結果>

男子区間	男子(1:02:32) 総合23位	女子区間	女子(51:27) 総合28位
1区(3,216 m)	山口 伯流 10:28 (32位)	1区(3,216 m)	金子 和泉 12:32 (25位)
2区(2,992 m)	阿部 比呂人 9:58 (23位)	2区(2,162 m)	多田 喜音 8:39 (36位)
3区(2,992 m)	中田 皓 10:37 (33位)	3区(2,162 m)	竹中 梨乃 9:06 (48位)
4区(2,992 m)	立木 克典 10:35 (25位)	4区(2,162 m)	石井 璃音 8:40 (27位)
5区(2,992 m)	高田 洸希 10:30 (18位)	5区(2,992 m)	藤原 愛波 12:30 (23位)
6区(2,992 m)	網谷 達誠 10:24 (23位)		



笑顔と学びの体験活動プロジェクト

11月15日(金)に、東京都教育委員会主催「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」が行われ、東京都交響楽団の方による弦楽四重奏を鑑賞しました。初めてのクラシックコンサートということで、緊張した様子の生徒が多くいましたが、演奏が始まるとヴァイオリンやヴィオラ、チェロの音色に引き込まれ、前のめりになって聴いていました。クラシック曲から最近はやりのポップス曲まで様々な曲目を演奏してくださいました。特に生徒の反応が良かった曲は、「魔王」「怪物」「Bling-Bang-Bang-Born」でした。よく聴いている曲が弦楽器で演奏されることによって、また違った味わいになったようです。アンコールでは、第一中学校校歌を演奏して下さるだけでなく、「一緒に歌う」という貴重な体験をしました。普段は、勇ましく堂々とした雰囲気校歌ですが、弦楽四重奏の伴奏に合わせて歌うと、しっとりと哀愁漂う雰囲気になり、生徒達も歌い終わった後に驚いていました。演奏会終了後、生徒たちに感想を聴くと「鳥肌が立った」「〇〇の曲がカッコよかった!」「ヴァイオリンからあんな音が出ると思わなかった」など沢山の刺激を受けたようでした。



第51回 一中祭 11月16日(土)

『Grade Up !!～心をつに彩れ笑顔!!～』というスローガンを掲げ、一中祭活動は始まりました。一中祭実行委員はこのスローガンに次のような思いを込めました。「!」の数は昨年度のスローガンから、さらに一つ増えました。ここには、昨年度の一中祭を超えたいという思いを込めました。

「Grade UP」には、「Grade」に学年という意味があるため、一中祭を通して学年として grade up したいという思いとこれまで以上の一中祭にしたいという思いを込めました。今年の一中祭は、スローガンにあるように一中生全員が心をつにし、生徒一人一人が個性を発揮して、様々な場面で活躍して笑顔で彩られた、笑いあり、涙ありの感動的な一中祭となりました。委員会活動なども後期から2年生へと代替わりをし、一中祭も2年生を中心に運営が進んでいきました。合唱発表会の全体合唱「大島よ、いつまでも」で3年生が1年生の後ろに移動し、ソリスト、2年生、1年生、3年生の順番に合唱隊形が組まれるのには、「3年生から2年生に代が入れ替わる」という意味と「2年生が先頭に立って頑張るのを3年生が後ろから支える」という意味が込められています。生徒が主体となって学校行事を運営していくことは、上手いかないことも多く、苦労することもあります。しかし、最後までやり切ったからこそ、達成感と感動が生まれました。まさに「全力は気持ちいい、全力は感動」です。一中祭が終わったばかりで時期尚早ではありますが、来年度の一中祭も「全力は感動」「やり切った」が伝統として引き継がれるような一中祭になることを期待しています。

【弁論大会】

最優秀賞
三年



最優秀賞
優秀賞
同
同
同
同

「Q」
「東京都知事選挙で学べる事」
「地球温暖化」
「睡眠」
「目指せモテ女」
「アニメから何を学ぶ？」
「弁論は本当になにといけないのか」



【合唱発表会】

【部活動発表】



PTA 発表】



くろしお学級のページ

～つばき小 三原学級との交流～
「職業」の授業。一緒に活動しました。



後半はハロウィンパーティ！宝探しやボーリング！



♪一中祭♪

くろしお発表は、音楽の授業
で制作した学級の歌を披露しまし
た。実行委員の応援もあり、会場
が一体となる熱いステージにな
りました。美術部・学年合唱
にも出演しました。

